

# お知らせ

祇園大祭電飾山笠開催に伴う  
芦屋タウンバス運行ルート変更

祇園大祭電飾山笠

が正門通り商店街周  
辺で行われるため、芦  
屋タウンバスの運行  
ルートを次のとおり  
変更します。



▽とき 7月12日回・  
午後7時～9時

■芦屋タウンバスルート変更

遠賀川駅前発（祇園崎経由）の  
次の2便が、鶴松団地経由にな  
ります。

①午後7時11分発

②午後8時13分発

※祇園崎バス停・正門通バス停の  
定期券を持っている人は、右記  
の2便のみ、鶴松団地バス停、  
高浜町バス停、自衛隊前バス停  
で降りることができます。

※浜口南バス停の定期券を持って  
いる人は、浜口バス停でしか降  
りられません。

祇園崎は経由しませんので注意  
してください。

▽問い合わせ 地域振興・交通係

(☎223-3539)

## クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）を設置します

熱中症による健康被害の発生を防止するため、町が設置した施設を一般に  
開放し暑さをしのぐ場所として利用できるクーリングシェルター（指定暑熱  
避難施設）を設置します。

「熱中症特別警戒アラート」が発表された時などに、積極的に利用してください。

▷開放期間 7月1日(金)～10月31日(土)



### 指定施設一覧

番号	施設名	住所	開館日	時間	休館日	受入可能人数
1	芦屋町役場	幸町 2番20号	月～金	8:30～17:15	土日祝	7人程度
2	町民会館	中ノ浜 11番6号	月～日	8:30～22:00	—	12人程度
3	中央公民館	中ノ浜 4番4号	火～日	8:30～22:00	月	11人程度
4	芦屋東公民館	緑ヶ丘 4番22号	火～日	8:30～22:00	月	12人程度

#### ▷利用上の注意事項

- 指定施設が開館している日時と指定した場所のみ利用できます。
- 開放スペースは主にロビーです。部屋を設ける訳ではありません。
- イベントなどの開催により、利用できない場合があります。
- 指定施設を利用する時は、施設係員の指示に従い、ほかの利用者の迷惑となる行為は行わないでください。
- 指定場所の温度調整はできません。
- 指定施設で飲み物の提供はありません。自動販売機などで購入するか持ってきてください。

▷問い合わせ 環境・公園係 (☎223-3538)

夏といえは、盆踊りです。芦屋町には福岡県の無形民俗文化財に指定されている盆踊り「はねそ」があります。今回の歴史紀行は、「はねそ」を紹介しします。

## ●「はねそ」とは

芦屋、山鹿に200年以上前から伝わる盆踊りです。天明2（1782）年、上方の歌舞伎役者尾上三十郎を招き、丸1年かけて伝授してもらったものが始まりとされています。

「はねそ」の語源は、跳ね踊る際に、着物の裾が跳ねる「跳ね裾」から変化し、「はねそ」といわれるようになったというのが定説です。今に伝わる「はねそ」は、跳ね踊ることはしませんが、古くから続く芦屋の盆踊りが跳ね踊る念仏踊りだったことから、「はねそ」という名のみが残ったと考えられています。

盆踊りは踊り子が輪になって踊る「輪踊り」や、阿波踊りのような「行進式」が有名です。しかし、はねそは横隊、縦隊の形で、踊り

手の人数によって何列かに並んで踊る珍しい踊りです。これは初盆の家に設けられた祭壇に向かって踊った名残です。踊り場の両端に、唄い手と三味線・太鼓を演奏する囃子方が陣取り、その間で盆踊りが行われます。踊り手の衣装に決まったルールはありませんが、多くの場合で揃いの浴衣を着用して踊ります。また、編笠をかぶり、うちわを手に持ち踊ります。

「はねそ」には、「はねそ」独特の歌詞は少なく、ほとんど民謡や俚謡、俗曲などから歌詞がとられています。中には、歌舞伎・狂言の中の人物や筋立てを歌詞としたものがあり、芦屋歌舞伎との関連性があると考えられています。また、曲の調子や踊りは、芦屋と山鹿で多少違いがあります。

「はねそ」は昭和35（1960）年に福岡県の無形民俗文化財に指定されています。

## ●全国にある「はねそ」と名がつく盆踊り

「はねそ」と名前がつく盆踊りは、

芦屋町だけでなく、全国に存在します。福井県南越前町今庄羽根曾踊り、長野県大桑村須原ばねそ、兵庫県新温泉町丹土はねそ踊り、鳥取県岩美町牧谷のはねそ踊りなど、他にも複数の踊りが挙げられます。はねその語源は「跳ね裾」、「跳ね候」、「跳ねる衆」などと言われますが、芦屋町同様、あまり跳躍しない、優雅な踊りが多いようです。



はねそ盆踊り

（芦屋歴史の里）

## 編集後記

▼今号の表紙は、山鹿小学校浜運動会の写真です。今回は趣向を変えて、ちびっこ相撲ではない写真を選びました。6年生による旗表旗立てリレーの様子です。皆さんの輝いている姿を撮影していると、表紙の写真を選ぶ場面になると、表紙の写真をどの皆さんの素敵な姿を表紙として残せるように、一つ一つの取材を大切にしていきたいと思っています。

（伊藤）

▼7ページのまちのわだいに掲載している、八朔のわら馬づくり講習会の取材に行きました。わら馬を作っているところを見てみると、想像以上に大変そうでしたが、わら馬が完成した時には、皆さん嬉しそうな笑顔を浮かべていました。わら馬は男の子の健やかな成長を願い、「八朔の節句」に合わせて作られています。裏表紙の八朔の節句、記念写真をプレゼントにあるように、初節句を祝う家庭をプロカメラマンが訪問し、記念撮影してほしい人を募集しています。また、このような情報をタイムリーに届けるために、町のSNSを職員が頑張っって投稿しています。裏表紙に登録用の2次元コードがありますので、登録をお願いします！

（篠塚）

